

50歳を過ぎてシニアと呼ばれる年代に入った。まだまだ精神的には若いつもりでも、客観的に見ると初老と呼ばれる年代である。新しく入った職員の両親の年齢を聞くと自分と同じか、それよりも若い年代となっている。若い時は、人生の時間はまだまだ無限にあるように感じていた。しかし、この年代に入ってくると人生で見える風景と時間が違ってくる。アーサーミラーに「セールのスマンの死」という戯曲がある。敏腕のセールスマン、ウィリーが60歳を過ぎて全く商品売ることができず、家のローンで生活は苦しくなり、これだけ働いても何も手に入れないことがなく、自分の人生の意味は何だったのかと問う物語である。もう一つは、エーリッヒ・フロムの「生きるということ」1976年に発刊された古典である。人が生きていく上で求める財産や知識、社

会的地位や権力の所有といった「持つこと」よりも、キリスト教や仏教が示す、かけがえない自分自身の存在を認識する。その認識を深めていくことで、持つことの弊害がわかるようになり、目に見えない部分に注目する「あること」の重要性が示されている。「ある」ということは、何ものにも執着せず、何ものにも束縛されず、変化を恐れずたえず成長することである。我々が大切だと信じて仕事にしている社会福祉／人間の福利 (Well-being) の価値と重なる部分が多いのではないかとこの2つの著作から学ばされた。最近利用者の方々の命と向き合う事柄が続いている。彼らと共に自分の生き方を振り返り「あること」の意味と意義を日々の実践と共に追及していきたい。



ヒソプ工房正面。



食堂のステンドグラス。



屋上より。

「あること」と人間のしあわせについて

盛岡支援部部长  
ヒソプ工房事業所 所長  
阿部孝司



119

No.119  
発行日/2016年7月15日  
編集/社会福祉法人カナンの園  
〒028-5133 岩手県二戸郡一戸町中山字大塚4番地7  
TEL 0195 (36) 1026  
FAX 0195 (36) 1027  
ホームページ  
http://www.canaan-jp.net/  
E-mail/honbu@canaan-jp.net

編集者 社会福祉法人カナンの園  
〒028-5133 岩手県二戸郡一戸町中山字大塚4番地7 ☎0195-361-026

発行所 東北障害者団体定期刊行物協会（略称TSK）  
〒981-0907 宮城県仙台市青葉区高松一丁目四一〇 頒価百円

●お知らせ

●NTT東日本様からの寄付御礼

ヒソプ工房ではNTT東日本グループ様より寄付をいただきました。この寄付は1995年にNTT創立10周年記念として始めた社会貢献施策「NTTマッチングギフトプログラム」の一環でいただいたものです。その寄付金をオーディオ、ブルーレイディスク、デジカメ、ソファの購入に充てさせていただき、4月18日にヒソプ工房にて贈呈式を行いました（写真）。ありがとうございました。



●職員募集のお知らせ

社会福祉法人カナンの園並びに学校法人カナン学園では、2017年度新規採用職員を募集しています。

カナンの園の基本理念、運営方針などに共感し、一人ひとりの存在そのものが大切にされる社会の実現に向け、共に活動していく職員を募集しています。

募集要項などはカナンの園ホームページをご覧ください。第1次募集の締め切りは8月31日です。

あとがき

「むつぶ」ということばがあります。辞書によると「分け隔てなく仲良くする」とあります。理事、チャレンとして大きな働きをされた中条先生を偲んで、交わりのあった方々に原稿をお願いしました。中条先生が私たちに伝えてくださったメッセージは「むつぶ」こと、そしてそのような社会を共にめざそう、という発信をカナンの園からしませんか、ということだったように思います。

例年7月発行の機関誌には、前年度の決算報告や今年度の事業計画などを載せています。社会的に責任を持った組織として、当然の「見える化」ですが、そこも含めて機関誌全体にどんな「香り」を乗せ、どんな「風」をお届けできるか、を編集担当で話し合いながら誌面作りをしてきました。私たちの思いを感じていただければ幸いです（佐藤真名）。

Scope & Spot



余暇を利用して卓球を楽しんでいる大志田勝宏さん。6月4日（土）に行われた岩手県障がい者スポーツ大会に出場し、見事金メダルを獲得！はにかみながらも次の大会に向け秘かに闘志を燃やしています。「はにかみ王子」こと大志田さんのサポーター募集中です（一緒に卓球をしませんか）。お問い合わせ先：カナンの園生活支援センター卓球部（新設）  
TEL：0195-35-3844 村上まで

●機関誌「カナンの園」では、読者の皆さまからの声もお待ちしております。機関誌カナンの園に対するご意見、ご感想を、事務局までお寄せ下さい。

社会福祉法人カナンの園

カナンの園法人本部

〒028-5133  
岩手県二戸郡一戸町中山字大塚4番地7  
TEL 0195 (36) 1026  
FAX 0195 (36) 1027  
郵便振替 02330-6-6631  
ホームページ  
http://www.canaan-jp.net/  
E-mail/honbu@canaan-jp.net

福祉型障害児入所施設 奥中山学園

☎0195-35-2314 FAX 0195-35-3406

多機能型事業所 ゆいまる

☎0195-35-2314 FAX 0195-35-3406

障害児相談・特定相談支援事業所 むつぶ

☎0195-35-3665 FAX 0195-35-3665

生活介護事業所 小さき群の里

☎0195-35-3080 FAX 0195-35-3080

共同生活援助事業所 ののさわ

☎0195-35-2232 FAX 0195-35-3405

生活介護事業所 ヒソプ工房

☎019-646-8581 FAX 019-646-8582

共同生活援助事業所 HANA

☎019-646-8581 FAX 019-646-8582

特定相談支援事業所 らぼーる

☎019-656-6863 FAX 019-656-0553

生活介護事業所 シャローム

☎0195-35-2883 FAX 0195-35-2884

就労継続支援B型事業所 ウィズ

☎0195-36-1120 FAX 0195-36-1121

多機能型事業所 福祉工場カナン牧場

☎0195-35-2583 FAX 0195-35-3145

共同生活援助事業所 美空

☎0195-35-3844 FAX 0195-35-3840

居宅介護事業所 れもん

☎0195-35-3844 FAX 0195-35-3840

多機能型事業所 となんカナン

☎019-681-3004 FAX 019-637-2601

カナン市場（カナンの園商品一括取扱所）

☎019-639-3120 FAX 019-637-2601

学校法人カナン学園

三愛学舎（特別支援学校高等部・知的）

☎0195-35-2231 FAX 0195-35-2781

本誌は再生紙を使用しています。

# 中条先生を 偲んで

本年2月22日に天に召された中条和哉先生は、チャプレン、理事としてカナンの園の働きに深く関わってくださいました。カナンの園を利用する方々やご家族、職員に分け隔てなく声をかけ、時に深く関わりを持ってくださいました。中条先生との交わりのあった方々に思い出等を寄せていただきました。中条先生が薨き、大切に育ててこられたことを感じていただければと願っています。



エビの会新年会にて。

中条和哉さんは、エビの会(\*)には皆のことをわすれないでカナン牧場に来てくれました。中条チャプレンの若いころの話をしてくれたり、せい書についての話とか、色々な話とか、楽しい話をしてくれました。今までエビの会に参加してくれてありがとうございました。

(カナン牧場従業員 田村まゆみ)  
\*エビの会：カナン牧場の従業員が運営する自治会。月1回の定例会があり、行事、研修などを企画している。

中条チャプレンを一言で表現するならば、「言葉に力のある人」でした。常にエビの会の事を気にかけて、毎月の定例会にも顔を出してくれました。期待に胸をふくらませ、会を進めたのを昨日の事のように思い出します。時には賛美歌を皆さんと歌い、聖書の言葉を力の限りに語られ、その一言一言が僕たちの日々の糧となり、カナンの園の力となり、今日があると思います。語る時間は長くても、その言葉の一つ一つに力を感じ、その言葉を聞く僕らの心の壁がゆつくりと確実にくずれていくのを感じました。僕にとっても、エビの会やカナンの園にとっても、大きな存在を失い、今も心に大きな穴が開いています。しかし、今も神様と共にエビの会を見つめ、時には御言葉を語っていることを思いつつ、歩みを進めていきたいと思えます。

(カナン牧場従業員 工藤靖明)

息子がカナンの園でお世話になり、10年目になりました。先人の方々が、理念として掲げた聖書を基にしたカナンの園ですが、私はキリスト教についてはほとんど知りません。5年程前に中条先生呼びかけの「学びの会」で聖書の読み説きがあるということで参加し、中条先生とお会いできました。私は聖書は初めてでしたが、読んでわからない時は尋ねて欲しいと言われましたが、お尋ねすることすらわからず、いろんなプリントなどいただきましたが、読むことで精一杯でした。まだまだ学びたいと思っていたところでした。

また、同じ盛岡に住んでいたもので、奥中山まで車でお乗せすることもあり、時には昼食を一緒にしました。緊張している私にいろんな話しをし、立場が違っても気さくに話しかけて下さる方で、「ホッ」としたことを覚えております。私自身、これからは聖書を学び、中条先生がそうしたように、これから出会う方々にも分け隔てなく接していきたいと思っております。

中条先生、どうもありがとうございました。

(工藤三千代さん：カナン牧場従業員工藤広大さん母)

## 中条先生へ〜となんカナンのみんなから

中条チャプレンは、となんカナン開所当時から現場担当理事ということもあつて、事業所での礼拝やイベ

ント等に積極的に参加下さいました。その中で特に手芸課の皆さんとの関わりが強く、「自分が作った作品を買って身に付けてくれました」「新しい製品作りのアドバイスをしてくれました」「町で偶然会ったからいつも気にして声をかけてくれるようになりました」「神様のことを話してくれました」など、皆さんそれぞれに関わりや思い出があるようです。

中条先生が強く願っていた事は、皆さんが生懸命に作った製品を適正な価格で必要としているお客様に届ける事でした。「製品がたくさん売れたら、一緒にフランスのお城でも見に行こう！」とよく話していたのですが、中条先生にとってはきっと夢物語などではなく、心からそう思っていたことでしょう。中条先生の「想い」を私たちはずっと引き継いでいきます。

(となんカナン副所長 猪又平)



# ことばひろい 第17回 あくび!

奥中山学園 副園長  
尾崎努

K君が奥中山学園に入園してきたのは、3年前。中学入学を半年後に控えた小学6年生の秋でした。自閉症という障がいがあり、いろいろなことを彼が理解できるように伝えるのが難しい状況での入園でした。転校だけではなく、K君を大切に育ててきたご両親を始め姉弟や祖父母などの家族と離れ、学園の暮らしも戸惑うことばかり…。不安や見通しのなき、混乱の極みのような環境の変化でした。

奥中山学園は、少しでも家庭に近い生活環境、少人数でできるだけ固定的な

な人間関係が築けるような暮らし等をめざし、一つひとつの寮を独立した1戸建てとし、敷地内に点在させています。一般的な住宅と同じように寮毎にリビング、台所、風呂、トイレなどがあり、居室は個室または2人部屋となっています。

K君は当時私が担当していた寮で暮らすことになりました。予定の変更や見通しが持てなくなった時には大きく混乱して、グーで自分のおでこや脚を強く叩いたり、大声で泣くことでSOSを訴え、さらに走り回ったり、周りの人の腕をぎゅゅとつねって、自分のつらい気持ちを

すこともありました。入園して半年くらいは、毎日同じ夕方4時位の時間帯にその状態になり、お風呂に入ると、今日もここで寝るんだね、と半ば諦めた様な表情で静かになる、ということの繰り返しでした。

いくら私(たち)が「安心して過ごしていよいよ」と伝えたいと思っても、お互いに通じ合う言葉は少なく、K君が話してくれるのは「ごはん」「食べる」「おうち」などの単語か、「あくび!」という言葉でした。実は、K君は「嫌だ!」という言

葉が言えず、この「あくび!」という言葉で嫌だという気持ちを伝えていたのです。

K君にはとにかく、寮にいても楽しいなと思え、優しい仲間たちや大人から安心を感じてもらえれば…と願って過ごしました。夕方学校から帰ってきたら、手洗い・うがい、着替えをし、学校の宿題を一緒に頑張つて終えたら、お楽しみタイム。K君の好きな「だんご3兄弟」や「忍たま乱太郎」の曲を私のギターに合わせて一緒に歌っていると、表情が柔らかくなり、どこかに子どもらしさの残る穏やかなK

君の姿になります。(安心)を言葉で伝えることはできなくても、一緒に楽しい時間を過ごすことで伝えられそうだと、毎日毎日行いました。他の高校生たちも、その音楽の輪に加わってくれるので、K君も自然な形で仲間と笑い合えるようになっていきました。ある時から「ヒヤホ!」や「はちはち、もち」という言葉を仲間

で日常会話に取り入れて使ってみました。これも「あくび!」のようなK君にしかわからない言葉なのですが、その言葉をみんなが笑顔で使うことで、「僕はつな



がつているんだ」という想いが交わされていくように感じました。

中学3年生になったK君は来年にはいよいよ高校生となります。気持ち安定し、色々なことに見通しが持てるようになってきた今、秘めていた力が次々と開花し、グングンと力をつけて仲間から一

目置かれる存在になりました。3年前に166センチだった身長は、私が見上げる178センチになり、顔つきも大人らしく凛々しくなっています。

先に触れたように、入園した頃のK君は納得ができないこと、見通しが持てないこと、嫌なことがいっぱいあっただろうに、「嫌」という言葉が言えませんでした。私にはそれが言わなかったのか、言えなかったのかはわかりません。でも、今では困った時に「い・や・だ!」と言えるようになりました。今では私が「あくび!」と言うと照れくさそうにニヤニヤと笑っています。

K君とは、言葉のキャッチボールを、学校の行き帰りの道で、生活の中でしてきました。目に映る物を指さし、「K君、あれなんなんだ?」と聞くと「お花!」「電車!」などと答えてくれます。いろんなものの名前を知っていることに感心したり、前には答えてくれなかったものが答えられるようになったり、と、過ごす時間が積み重なった分だけ、K君の言葉と笑顔に出合えました。

かけがえのない時を経て、K君の「あくび!」は「い・や・だ」に変わり、「あくび!」は互いを結びつける言葉に変わりました。この先の未来にK君がどんな言葉を覚えて話してくれるのか、そのワクワクが私のエネルギーの源、人生の宝物です。そして、ずっとずっと応援していきたいという想いがますます膨らんでいくのです。

# みんなのカナン

## 今日の夕食は…?

昨年の4月からののさわ事業所でホームのご飯づくりを担当しています。福祉の仕事は初めてだったので、私にできるかどうか不安と緊張の毎日でした。1年が過ぎ、利用者の皆さんも少しずつ仲良くなれたような気がします。おおよそホームでは夕方に帰宅した皆さんが、真つ先に「今日の夕食は何かな?」とカウンター越しに見に来てくれます。ご飯づくりが私と皆さんとのコミュニケーションの橋渡しとなっています。メニューによってはちらっと見ただけで来ない日もあるので、その人の好き嫌いもわかり面白く感じます。栄養のバランス、塩分のとりすぎに注意しながらこれからも頑張りたいです。

(のさわ事業所 吉田美知子)



「今日のご飯はなんだろう?」



「皆さんの好み聞きつつ栄養バランスも考えて…」



「いただきます」

## 強さと成長

私は今、今年行われる希望郷いわて大会に向けてIDバスケットボールの1員として練習を頑張っています。バスケットを通じて経験した事がたくさんあります。ブロック予選では秋田、北海道に行き、岩手代表として試合に出る事ができました。また、印象に残っているのは、岩手ビッグブルズの試合観戦、交流会です。試合観戦は、プロの迫力に圧倒されました。交流会は、一緒に練習や試合をしました。交流会で学んだ事は、楽しくバスケットをする事と声を出し合いながら試合をするという事です。学んだ事を活かして希望郷いわて



北海道との試合の様子。

大会では優勝に向けて精一杯頑張りたいと思います。  
(二愛学舎専攻科1年 小笠原夏帆)

## ちきゅうせつけんに出合っ

ヒソプ工房とさくら館は近所同士です。ヒソプ工房カナン祭開催のご挨拶で頂いたのがきっかけで、ちきゅうせつけんを使い始めました。毎日、入居している高齢の利用者様の洗濯で、私たちスタッフは衣類の染み等の汚れを直接手もみ洗います。この石鹸を使うようになってから手荒れが気にならなくなりました。また利用者様の皮膚



体に優しくなければ手づくりはできません!

## 手話を通じた出会い

二戸手話学習会を24年間指導して下さった道合さんが突然亡くなり、会の講師を私たち夫婦が務めて5年、学習会メンバーの中に、カナン牧場で働いている清水洋介さんと田村まゆみさんがいます。2人が学習会に来るようになったきっかけは、職場にいる聴覚障がいの方と「手話で話してみたい」ということでした。そのことを聞き、また実際に一生懸命に学んでいる2人にとっても感心しています。今まで、手話を勉強したいと来る方の中で、障がい

を持ったそんな人たちに会ったことはありませんでした。私たち夫婦も聴覚障がい者で、手話を通して色々な方と巡り合いますが、巡り合いに障がいはない! と思います。すばらしい2人の頑張り、いつか「頑張ったで賞」を贈りたいと考えています。渡せる日が来ることを楽しみに、改めて手話を通じての出会いに感謝しています。  
(二戸手話学習会 合川知代子、泰史)



手話による「こんにちは」(左:清水さん、右:田村さん)。

## 池田一明さん、きらら大賞受賞!!

のさわ事業所のグループホームで生活し、小さき群の里事業所に通う池田一明さん。

作品「12月」が、3月に開催された第19回いわて・きららアート・コレクションにおいて最高位のきらら大賞に見事選ばれました。



タイトル「12月」。

# 社会福祉法人カナンの園 2015年度 決算報告 (単位：円)

\*詳しい内容等は当法人ホームページをご覧ください

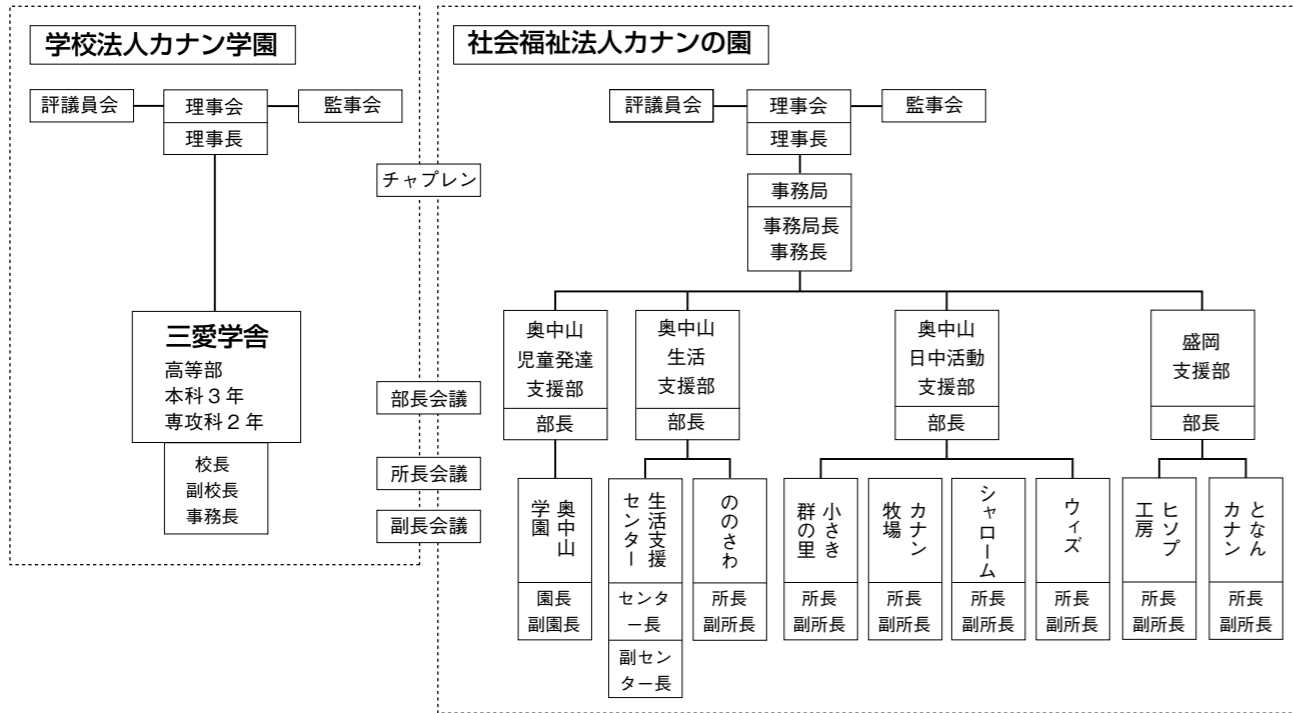
## 1. 社会福祉事業会計

事務局、奥中山児童発達支援部、奥中山生活支援部、奥中山日中活動支援部、盛岡支援部等の5拠点区分を合算したものです。

貸借対照表			
2016年3月31日現在			
資産の部		負債の部	
流動資産	655,933,219	流動負債	43,955,805
固定資産(注①)	1,329,401,391	固定負債(注②)	80,616,355
		負債の部合計	124,572,160
		純資産の部	
		基本金	511,975,824
		国庫補助金等特別積立金	428,715,666
		その他の積立金	231,509,538
		次期繰越活動収支差額	688,561,422
		(内、当期活動収支差額)	81,616,473
		純資産の部合計	1,860,762,450
資産の部合計	1,985,334,610	負債・純資産合計	1,985,334,610

- 注：  
 ①固定資産額の内訳の内、基本財産は、土地72,446千円、建物763,536千円等です。  
 ②固定負債の内訳の内、福祉医療機構借入金29,450千円、岩手県社協退職引当金45,176千円、退職給与引当金5,990千円です。  
 ③サービス活動収益の内、給付費等の収益は955,861千円、就労支援事業収益は182,157千円、寄付金収益は10,696千円です。  
 ④サービス活動費用の内、人件費は639,261千円、事業費・事務費は246,247千円、就労支援事業費用は181,846千円です。  
 ⑤サービス活動外の収益は、職員等の給食費収益等の雑収入です。  
 ⑥特別収益差額は、自立支援給付費及び新会計移行の過年度分の修正額の増減です。

## 2016年度 カナンの園組織図



# カナンの園2016年度の事業

## 1 運営方針

社会福祉法人カナンの園の歩みは創立44年目を迎えました。社会福祉法人を取り巻く情勢が目まぐるしく動く中で、時代の変化やそれに呼応する様々な環境、そして何よりもカナンの園の持てる機能に期待し、利用している方々に応えていく組織、人材を整えていくことが喫緊の課題となっています。

カナンの園は2015年度に、組織機構の再編、新会計基準による会計処理への移行を行いました。2016年度も引き続き理事会と現場が課題を共有し、解決していきます。また、事業運営の透明性の確保及び社会的責任を果たすことが求められており、特に地域における公益的な取り組みを行うことが責務とされています。それぞれの地域の課題や必要に目を向けつつ、各事業所の持つ機能を活かして取り組んでいきます。

障がい福祉に携わる者のメンタルヘルスケアについては、カナンの園にとっても大きな課題であり、精神衛生への予防と対応を行う体制を組織します。理事会の責任の下、現場管理者の連帯、重層的多面的な研修プログラムの構築、職員の福利厚生と健康管理などを運営の重点項目とします。旧入所施設小さき群の里の建て替え計画を進め、解体及び設計作業を行います。2017年度内での竣工を目標に、公益的な要素を取り入れながら、高齢化や介護度の高くなった方々の日中活動の場の充実を図ると共に、新たな就労支援の場の確保をめざしています。

社会福祉事業では、何よりも現場に立つ一人ひとりが確かな理念と実践力、人権意識を持つことが大切であり、組織としての有り方そのものが問われています。2016年度は、これらを踏まえ、以下の重点項目を掲げ取り組んでいきます。

## 2 運営の重点

- ① 組織運営の強化を図るために以下の方策を取る。
- ② 事務局制運営の安定化を図る。
- ③ 理事会と現場とが課題を共有し、対応できる運営を行う。
- ④ チャプレンの働きを充実させる。
- ⑤ 人材の確保と育成を行い、実務技術力の向上を図る。
- ⑥ 健康管理体制と安全管理、防災体制の充実を図る。
- ⑦ カナンの園第6次将来計画を基本として、総合的な観点から事業計画を進める。
- ⑧ 旧入所施設小さき群の里の建物の建て替え計画に沿って、設計及び解体作業を推進し、次年度建設の準備を行う。
- ⑨ 中山地区、盛岡地区での利用者ニーズ、各事業所の役割を整理し、第7次計画策定に向けた準備を開始する。
- ⑩ 農畜産業並びに福祉事業が主要産業となっている中山地区にあつては、その地域特性を生かし、新たな地域展開を図る。
- ⑪ 法人全体の製品販売を総合的に取り扱うカナン市場の更なる充実を図り、販路拡大や顧客ニーズに応じていく体制を吟味する。
- ⑫ 相談支援事業の安定と充実を図る。

## 社会福祉法人カナンの園役員(担当)

- 理事長**  
及川忠人(人事、将来像検討)
- 理事長代理**  
本間邦彦(広報、奥中山日中活動支援部カナン牧場担当)
- 常勤理事**  
佐藤真名(事務局長、人事、将来像検討)
- 理事**  
齊藤芳弘(将来像検討、組織、事務局、奥中山児童発達支援部、盛岡支援部ヒソブ工房担当)  
佐藤孝悦(教育研修、奥中山児童発達支援部奥中山学園担当)  
坂水かよ(組織、安全管理、奥中山生活支援部のさわ担当)

## 社会福祉法人カナンの園施設管理者

- 法人事務局  
事務局長 佐藤真名  
事務長 伊藤繁夫
- 奥中山児童発達支援部  
部長 岡崎俊彦
- 奥中山学園  
園長 岡崎俊彦  
副園長 尾崎努
- 奥中山生活支援部  
部長 山館憲行  
副部長 薄正仁
- 生活支援センター  
センター長 山館憲行  
副センター長 戸田清志
- ののさわ  
所長 山館憲行  
副所長 服部勉
- 奥中山日中活動支援部  
部長 薄正仁  
副部長 猪又平
- 盛岡支援部  
部長 薄正仁
- 三愛学舎  
副所長 中嶋隆  
所長 カナン牧場  
副所長 山崎敏夫
- シャローム  
所長 薄正仁  
副所長 向井由祈
- ウイズ  
所長 薄正仁  
副所長 南館晋也
- 盛岡支援部  
部長 阿部孝司  
副部長 ヒソブ工房
- ヒソブ工房  
所長 阿部孝司  
副所長 鈴木直人
- となんカナン  
所長 高橋正彦  
副所長 猪又平

## 学校法人カナン学園役員

- 理事長 齊藤芳弘  
理事 本間邦彦  
及川忠人  
角谷晋次  
澤谷常清  
伊藤和彦
- 監事  
栗田良実  
花松行雄
- 三愛学舎  
校長 伊藤和彦  
副校長 岩崎崇  
事務長 箱崎浩二